

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同法人の児童発達支援や放課後等サービスを利用している者であるため、保護者との関係機関とも連携がとりやすい。	・事業所での日頃の取り組みや本人の様子をこまめに聞き取りと共に状態を見て確認するようにしている。 ・登降園時に保護者と話す時間を確保している。	・同法人内での事業所であっても、別事業であることを意識し、それぞれの立場から正しい情報共有に努め必要な支援を見極めていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問員が、保育士のみであり、心理士、リハビリの専門職は配置されていない。	・サービスとして選んでいただいた時に、ニーズに対応できない場合がある。利用児のニーズに応じて専門職のいる訪問支援を案内している。	・より専門的に多岐にわたる支援ができるよう、専門員の配置ができるようにしていきたい。体制が整うまでは外部の専門員と相談したり、アドバイスをいただきながら行っていく。
2	・訪問員が兼務ということもあり、園や学校との日程調整が難しいことがある。	・専従の訪問員が配置されていない。	・人材の確保に努めていく。
3			